

【ユニット】 地域医療とチーム医療

【ユニットディレクター】

UD：柴崎 智美（医学教育学）

UD 補佐：米岡 裕美（教養教育） 植村 真喜子（社会医学） 金田 光平（医学教育センター）

【一般的な目標】

医師は病気の治療や予防のために診療や保健指導などを行い、ひとの生命・生活・人生に深くかかわる職業である。また、医師は医療及び保健指導を掌ることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与もって国民の健康な生活を確保する（医師法第1条）という社会的責任がある。少子高齢化や医療費増大、人口減少社会を迎える地域社会・医療の課題を解決するために必要な基本的な知識、技能、態度、価値観を身につけることを通して、将来地域・社会で役に立つ医師になるための素養を育む。

【具体的な目標】

ひとと関わる高度な知識や技術を持つ専門職である医師として、他の専門職や地域住民と連携・協働できる価値観を身につける。ひとをケアするとはどのようなことか、ひとの一生におこる生老病死や障害について考え、「コミュニケーション」及び「ケアし・ケアされる自分」を見つめ直す。特に、我が国の地域社会の現状や課題を通して、他の専門職や地域住民との連携の意義と重要性を考える。

1. 我が国の地域医療の現状と課題、今後の方策について説明できる。★
2. 医師の責務と健康の定義を理解し、自分の考えを説明できる。
3. ひとの価値観の多様性について自ら考え、多様な価値観を受け入れるとはどのようなことか説明できる。★
4. ヒューマンケアの担い手としてケアすること、連携と協働について説明できる。
5. 生老病死障害とは何か、その当事者や家族の思いやニーズを知り、援助の在り方について説明できる。
6. ヒューマンケアの概念が登場した社会的背景と制度的背景について説明できる。
7. 病める人々の心と身体の痛みと価値観を理解するために必要な態度、価値観を身につける。
8. 老化と死生観について基本的知識を有し、自らの考えを述べるができる。★
9. 他の人と意見が異なることを肯定的に受け入れ、その違いの意味を表現することができる。★
10. リフレクションの方法を理解し、ひとと関わる体験を振り返ることができる。★

【学習方法】

このユニットでは、学内外の実践者を講師として迎え、医師としての基本的な考え方や知識を学ぶだけでなく、様々な学習場面での知識や考え方を問う内容を扱う。遠隔の形態であっても、その時間に参加し、講義を時間通りに受講することを基本とする。受講時には、主体的に参加し、当事者の声や具体的な事例について、ひとりひとりの学生が自分の頭で対象とする Life（生命、生活、人生）を想像し、考え、自分なりに理解することを求める。

講義の事前学習や講義中または講義終了後の理解度を確認するために WebClass を用いることがあるので、講義の日には WebClass にアクセスできるよう PC や ipad、iphone などを持参しておくこと。

また、臨床入門、臨床推論、行動科学と医療倫理といった良医への道コースの他ユニットでの体験や学びとともに、本ユニットでの学びを統合し、理解するよう努めて欲しい。

1. 多様な個人の意見を聴く、意見交換することを目的としてグループワークを行う。
2. 講義に参加し、自らメモやノートをとる。
3. 講義中に紹介された書籍等に目を通す。
4. WebClass 内のヒューマンケア論 DVD を視聴する。

5. 医師になる上で必須の知識（法律や術語）は理解し覚える。
6. 本ユニットが評価を担当しているマイルストーンについて説明できるように復習する。

【評価方法】

本ユニットは良医になることを目指して、授業に参加し、課題に取り組むことを求めている。そのため、医師を目指す医学生としてふさわしくない態度、行動があった場合には、評価の対象とせず、不合格とする。

本ユニットは演習ユニットのため、75%以上の出席を求める。やむを得ない理由以外で出席不良の場合には、評価の対象とならないので、十分注意すること。

学年末の定期試験期間中に試験を行う。ユニットの評価は、定期試験の結果と講義内で行われるグループワークの参加態度やレポートの提出状況、提出内容を総合的に評価する。必要がある場合のみ再試験を1回行う。マイルストーン評価は、該当する講義の出席要件の小課題あるいは定期試験で評価を行う。マイルストーン評価で不合格の場合には、補習を行い再評価を行う。

【教科書】

- ◆ 保健・医療・福祉のための専門職連携教育プログラム 2019年 ミネルヴァ書房

【参考書】

- ◆ 地域医療学入門 2019年8月9日発行 診断と治療社
- ◆ 新しいIPWを学ぶー利用者と地域とともに展開する保健医療福祉連携ー埼玉県立大学編 中央法規出版
- ◆ ソーシャルアクション！あなたが社会を変えよう！-はじめの一步を踏み出すための入門書-ミネルヴァ書房
- ◆ よくわかる医療社会学 中川輝彦・黒田浩一郎編著 ミネルヴァ書房
- ◆ 新生児学入門 第3版 仁志田博司著 醫學書院
- ◆ 病院で死ぬということ 山崎章郎著 文春文庫

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域01	05月06日	(金)	2	地域医療と健康	柴崎 (医学教育学)
地域02	05月06日	(金)	3	健康の概念と医師の責務	柴崎 (医学教育学)
地域03	05月10日	(火)	5	周産期医療の社会的側面について	側島 (総セ新生児科)
地域04	06月28日	(火)	5	命の大切さを考える	高橋 (医療人育成支援C)
地域05	07月01日	(金)	4	ヒューマンケア1(ケアの本質)	新井 (立正大) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域06	07月01日	(金)	5	ヒューマンケア2(連携と協働)	新井 (立正大) 柴崎 (医学教育学) 金田 (医学教育C)
地域07	07月05日	(火)	3	ひとと関わること	米岡 (教養教育) 柴崎 (医学教育学)
地域08	12月01日	(木)	4	医学を学ぶ	江利川 (医療政策学)
地域09	12月15日	(木)	4	緩和ケア2(死生観)	儀賀 (総セ呼吸器外科)
地域10	12月15日	(木)	5	緩和ケア1(当事者からのメッセージ)	儀賀 (総セ呼吸器外科)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
地域11	12月20日	(火)	4	エンドオブライフケア	齋木(国セ総合診療内科)
地域12	12月22日	(木)	4	障害とともに1(発達障害のケア)	鈴木(光の家)
地域13	12月22日	(木)	5	EBMとNBM	柴崎(医学教育学)
地域14	01月20日	(金)	4	障害とともに2	新井(立正大) 柴崎(医学教育学) 金田(医学教育C)
地域15	01月20日	(金)	5	障害とともに3	新井(立正大) 柴崎(医学教育学) 金田(医学教育C)
地域16	01月27日	(金)	3	老いを見つめる	柴崎(医学教育学)

【備考】

本ユニットは彩の国連携力育成プロジェクトによる彩の国連携科目「ヒューマンケア論」該当科目である。具体的な目標の★印はマイルストーンに該当する目標である。本ユニット終了までにマイルストーンが達成できるようにマイルストーンを意識しながら講義を受講すること。

【ユニット】

地域医療とチーム医療

【ユニットディレクター】

柴崎 智美（医学教育学）

【コンピテンス】

1. 社会人および医師としての基本姿勢
2. 基盤となる医学知識と問題対応能力
4. 自ら学ぶ姿勢
7. チーム医療
9. 地域および国際社会の医療

【マイルストーン】

- 1-(2). 人の多様性や個別性、患者の価値観について、基本的事項を説明できる。
- 2-(5). 老化と死生観について基本的知識を有し、自らの考えを述べることができる。
- 4-(3). 自分の行動について、考えたことや感情及び課題を説明できる。
- 7-(3). 他の人と意見が異なることを肯定的に受け入れ、その違いの意味を表現することができる。
- 9-(1). 地域医療の現状と課題を概説できる。

【評価方法】

- 1-(2). レポート
- 2-(5). レポート
- 4-(3). 筆記試験（振り返り）
- 7-(3). レポート
- 9-(1). 筆記試験

【補習および再評価の方法】

- 1-(2). レポートの再提出
- 2-(5). レポートの再提出
- 4-(3). 再試験該当者は再試験で評価、再試験非該当者はレポート評価
- 7-(3). レポートの再提出
- 9-(1). 再試験該当者は再試験で評価、再試験非該当者はレポート評価